

GPS アンテナの取り付けかた

取り付ける前に

- 設置面の汚れ（ごみ、油など）をきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。
- 気温が低いときは、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- 妨害を防ぐため、他のアンテナから、10 cm 以上離して取り付けてください。

車外に取り付ける（推奨）

ルーフの平らな面に取り付ける。

⑤ GPS アンテナ
⑥ 保護シート
裏紙をはがす。

※ルーフキャリアの近く、またはトランクリッドなどに取り付けると、GPS 衛星からの電波を受信しにくくなります。

車内に雨水が入らないようにコードを引き回す。

- ハッチバックの場合には、ドアの開閉でコードが引っばられないように、コードを余分にたるませて引き回してください。

⑨ コードクランパー
コードの要所を固定する。

GPSアンテナのコード
裏紙をはがす
裏返す
⑥ 防水ゴム(裏面)
トランクのゴムパッキンに平行にあてる。

- お願い**
- GPS アンテナに塗料やワックスを塗らないでください。また、雪などが積もった場合は取り除いてください。GPS 衛星からの電波を受信しにくくなります。
 - 洗車などのときは、必ず GPS アンテナを取りはずしてください。取りはずすときは、コードを引っ張らないでください。故障や傷つきの原因になります。

ダッシュボードやリヤトレイの上に取り付ける場合は

中央部のガラス付近に水平に取り付ける。

⑤ GPSアンテナ
⑦ 金属シート
裏紙をはがす。

20 cm以上

コードをドライバーなど先のとがったもので押しつけないでください。コードが傷つき故障の原因になります。

⑨ コードクランパー
コードの要所を固定する。

- お願い**
- 金属シートは、必ず、付属の金属シートを使用してください。折り曲げたり、切って小さくしないでください。
 - あまったアンテナコードをまとめるときは、ナビゲーション本体から 30 cm 以上離してください。
 - GPS アンテナに時計や磁気カードを近づけないでください。時計や磁気カードが故障したり、使えなくなったりする場合があります。

- お知らせ**
- 車内に GPS アンテナを取り付けると、受信しにくくなり、電波状態によっては自車位置を誤って表示することがあります。受信状態が良くない場合は、車外に取り付けてください。
 - 車体の形状や電波を通さない一部のガラスにより、電波がさえぎられることがあります。お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」(☎ 取扱説明書「ナビ編」)にご相談ください。

TV・FM多重・地上デジタルアンテナの貼り付けかた

貼り付ける前に

- アンテナは、運転者の視界を妨げない位置に、はがれないようしっかり貼り付けてください。
- 車種によって、性能が発揮できない場合があります。
 - ・熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 仮止めして、アンテナを貼り付ける位置（左右）をご確認ください。（貼りなおせません）
- 妨害を防ぐため、他のアンテナから、10 cm 以上離して貼り付けてください。
- ピラーにエアバッグが装備されている場合、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ガラス面が完全に乾いていない状態でアンテナを貼り付けると、接着不良などによるはがれの原因になります。ガラスが十分に乾いた状態で作業を行ってください。
 - ・気温が低いとき(20℃以下)は、車内ヒーターやデフロスターでフロントガラスを温めてください。
 - ・界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。

必ず車室内（フロントガラスの上側）に貼り付けてください。

- サイドガラスやリヤガラスには貼らないでください。十分な受信状態が得られません。
- 左ハンドル車の場合も、図のとおり貼り付けてください。（左右逆に貼らないでください）
- アンテナを折り曲げないように、取り扱いにご注意ください。

左 ⑳ TV・FM多重・地上デジタルアンテナ
㉘ TV・FM多重アンテナコード(4 m)
㉙ 地上デジタルアンテナコード(7 m)

右 ㉘ TV・FM多重・地上デジタルアンテナ
㉙ TV・FM多重アンテナコード(4 m)
プラグ白
㉙ 地上デジタルアンテナコード(7 m)

車内からフロントガラスに向かって左(L)/右(R)を表します。

地上デジタルチューナーへ

配線時は、カバーを取りはずします。(左側も同様に)

■ 取付許容範囲について
国土交通省の定める保安基準*に適合させるため、アンテナの給電部は、取付許容範囲内(■部)に貼り付けてください。
*保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29条第4項第7号に対する、平成11年12月27日付の運輸省(当時)告示第820号をいいます。

地上デジタル用
地上アナログ用
VICS用
給電部
地上デジタル用

点検シールなどには重ねないでください。

セラミックライン(ガラスの黒い縁)の下端に給電部を合わせてください。セラミックラインの上には貼らないでください。

左用(L) 上下 100 mm 以内
右用(R) 左右 25 mm 以内